

平成 28 年 8 月 17 日
J Aバンク（J A、信連、農林中金）

J Aバンク自己改革における移動店舗の全国での導入について
～移動店舗の巡回による、地域の皆さまへの金融サービスの提供を通じ、地域に貢献～

J Aバンクでは、「地域の活性化」を基本目標の一つとする J Aグループ自己改革の一環として、「農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供・地域貢献」を J Aバンク自己改革の柱の一つとして掲げて取り組んでおります。そのため全国企画の移動店舗を導入していくこととし、平成 28 年 8 月にその第一陣 4 台が 3 J A、1 信用農業協同組合連合会（以下「信連」といいます。）で導入されております。

全国企画の移動店舗は信用事業の窓口端末を搭載して地域を巡回し、全国の組合員・利用者の皆さまへ金融サービスを提供いたします。また、組合員・利用者の皆さまのニーズに応じて総合事業を通じて地域のインフラ機能を提供できるよう、金融店舗に加えて購買店舗併設型の車両も用意し、食品や日用品等をご購入いただくことができるようにしました。

また、広域災害等の発生時にも、被災地の組合員・利用者の皆さまに貯金の出金等の金融サービスをご利用いただくため、全国に配備された移動店舗を相互に派遣できるよう、J Aバンクの B C P の枠組みを整備しました。

これらの地域貢献の取組みを促進させていく観点から、信連・農林中央金庫が J Aにおける移動店舗の導入・運行をサポートしてまいります。

全国企画の移動店舗は、平成 28 年度には全国で 26 台の導入が予定されています。J Aバンク自己改革の集中取組期間（平成 28～30 年度）中には、全国で 100 台程度の導入が見込まれています。

J Aバンクでは移動店舗を活用しながら、引き続き全国の地域の利用者の皆さまへの金融サービスの提供を通じて地域貢献に取り組んでまいります。

以 上

<p>【本件に関するお問い合わせ先】 農林中央金庫 広報企画室（田口，大谷） TEL 03-5222-2017</p>

全国企画の移動店舗の概要

項目	内容
導入目的	J Aバンクの自己改革における「農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供・地域貢献」の役割を十全に果たすため、地域の巡回や、農業と地域を結ぶイベントへの派遣等を通じて、J A・信連から組合員・利用者の皆さまへ、金融を軸とした生活インフラを提供します。
導入年度	平成 28 年度～30 年度（J Aバンク自己改革の集中取組期間）
導入主体	J A、信連
設備、機材等	<ul style="list-style-type: none"> ・金融業務用窓口機器（窓口端末機、印鑑照合用機器等）を搭載 ・2 t 車（標準型）、2 t 車（購買店舗併設型）、3 t 車（冷蔵庫付購買店舗併設の拡幅型）の3タイプから選択 ・地域の実情や利用者のニーズに応じて、オプション（寒冷地仕様、冷凍機等）を選択可能 ・BCP対応にも活用するため、通信方式はモバイル方式でJ A S T E M 全国センターと直接接続とし、また発電機を搭載 ・安全・防犯対策（防犯カメラ、警報ブザー等）を装備 ・BCP対応の機能を維持するため、車両メンテナンスを義務づけ
取扱業務範囲	<p>1 通常時の業務</p> <p>（1）基本的な取扱業務は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当座性貯金の入金・出金 ・定期性貯金（定期積金を含みます）の受入 ・管轄店舗扱いの定期性貯金（定期積金を含みます）の支払・解約 ・通帳記帳・繰越 ・事故届（通帳、証書、カード・印鑑） <p>（2）J Aの任意により上記1以外の相談業務等を行います。</p> <p>2 災害派遣時に優先して実施する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当座性貯金の入金・出金 ・定期性貯金の支払・解約 ・事故届（通帳、カード、印鑑） ・為替（仕向為替）
J Aバンクのサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・信連・農林中央金庫による車両導入サポート（車両ベンダ斡旋等） ・広域災害等発生時の被災地への移動店舗車両派遣の調整、決定等

【JAやまがた ふれあい号】2t車（標準型）

